

みんなの立場

サークル仲間 64

さくらんぼサークル のびのび子育て みんなで楽しむ

さくらんぼサークルは、河北子育て支援センター（飯野川保育所内）を拠点に活動している育児サークルです。旧河北町時代に二俣地区で立ち上がり、子育て中の母親同士の交流や遠足等のイベントを企画。10年以上の歴史があります。現在、代表を務める亀山麻衣子さんは3人の子を持つお母さん。知り合いに声を掛けられ、2人目のお子さんの時に入会したそうです。

「私自身、この場所に来るのがとても楽しかったんです。子育てをしている同じ世代の仲間と話すだけで、心が軽くなるような気がします」と当時を振り返る亀山さん。「子どもも母親の楽しそうな様子に気づいて元気になるんですよ。それに、子ども同士の関わりの中で『自分の子はこんなことができるんだ』という発見もあります」とサークルの魅力について語ります。



▲笑顔の子育てを目指す「さくらんぼサークル」の皆さん

いまは河北地区や石巻地区から親子5組が参加しており、月1回、まめまき会やクリスマス会、遠足等季節の行事に取り組んでいきます。一緒に活動を楽しむ仲間も募集中で亀山さんは「ぜひ参加してください」とPRしています。未就学児とその保護者なら居住地域は問わず、見学だけでも良いそうです。問い合わせは河北子育て支援センター ☎61-1601まで。

サークル仲間 65

水押地区「しあわせの会」 支え合い 地域で生涯学習

水押地区の女性たちによる「しあわせの会」は平成12年11月に発足、今年で13年目を迎える団体です。市保健師の講話で「これからは地域のつながりが、自分たちを支える力になる」と学んだことが設立のきっかけだったといいます。仲間との信頼関係を深めながら元気に楽しく、はつらつと生涯学習に取り組んでいます。50歳から80歳代の35人が所属し、月2回（第2・4月曜日）、水押集会所で活動を続けています。



「経費をかせげず、無理しないで集まるのが長く続く秘訣。お互いに支え合って親睦を深めています」と代表の江見佐記子さん。官公庁等の関係機関から講師を招いて話を聞いたり、ダンスや体操等の健康づくりの実技に取り組んだりして



▲「しあわせの会」の皆さん

います。それぞれの得意分野を生かして会員自ら講師役を務める等、工夫してカリキュラムを組み運営しています。

学習活動がひと息ついたら、各自が持ち寄ったお菓子や漬け物等でお茶っこのみのスタートです。にぎやかに会話を交わす時間は、会員たちにとってなくてはならないもの。一人ひとりの笑顔が輝く、まさに

「しあわせの会」です。会員の中には一人暮らしの人もおり、仲間とのつながりが元気の源です。その一人である80歳の女性は「月2回、ここに来るのが何よりの楽しみです。色々な職業の方の話を聞くことができ、勉強になります」と話

していました。

江見代表は、「15周年を目指し、これからもみんなが楽しく学べるよう学習内容を工夫していきたいです。会員たちが互いに分かり合えるよう関係性を深めていければいいですね」と笑顔で語っていました。

投稿募集

◇投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとおきの話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールにて秘書広報課までにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたものを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

☎ 秘書広報課(内線4025)

〒986-8501(住所不要)

Eメール ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

まちの話題

石巻地区

復活祭で 住民交流

10月6日(土)
荻浜中学校



荻浜復活祭(荻浜地区振興協議会主催)と銘打ったイベントが荻浜中学校で開かれ、住民たちが親睦を深めました。メイン行事の「第3回荻浜地区グラウンド・ゴルフ大会」には同地区に住む小学生から83歳まで57人が出場し、世代間交流を図りながら打数を競い合いました。震災で地域を離れた住民も参加し、久しぶりの再会を喜んでいました。その後は、生活用品が当たるお楽しみ抽選会が行われたほか、焼きそばや豚汁が振る舞われました。

石巻地区

2年ぶりの 福祉まつり

9月30日(日)
石巻駅前にぎわい交流広場



石巻福祉まつりが2年ぶりに開かれ、震災で大きな役割を果たした“助け合いの心”を再認識しました。市ボランティア連絡協議会が災害復興祈念として開き、市と社会福祉協議会が共催しました。「であいとふれあい」をテーマにステージ行事をはじめ、点字や手話体験を通じて支援の輪を広げました。ステージでは手話を用いた童謡や歌が披露されたほか、健康増進につながるリズムダンベルの実演があり、来場者の関心を集めました。